

住宅改修・事例紹介 10

はんどで施工した事例をご紹介します。
ぜひ、参考資料としてお役立て下さい。



車いすでの外出を可能に

このようなことでお困りでした

奥様と二人で暮らしていらっしゃいます。移動は車いすを使用しておられ、出かける際には玄関ポーチの段差を越えなくてはいけません。奥様も高齢であるため、本人様を抱えて降りることもできず、困っていました。そこで『**車いすに乗ったまま、安全に外出できるようにしてほしい**』とご相談いただきました。



N様（男性）70代
要介護4

高血圧症、心臓病に加え、頸部脊椎管狭窄症を患っておられます。支えがあれば短時間の立位は可能ですが、移動は車いすを使用されます。

Before & After



玄関ポーチの段差が障害となり、車いすでの外出が困難な状況でした。玄関で屋外用の車いすに乗った後、奥様の介助で楽に外出できるよう、モルタルでスロープを製作しました。

スロープの反対側は、既存の段を残して階段とし、どちらからでも出入りできるようにしました。



ポーチの奥行きは 120cm で、傾斜もついていましたため、車いすの操作が大変でした。スロープ製作に伴って、奥行きを 150cm にしたことで車いすの方向転換も余裕を持って行えるようになりました。



スロープを降りた先は石や土による凹凸がありました。このままでは、車いすでの走行が難しいので、スロープの先も安全に走行できるよう石や植木を撤去し、モルタルで整地しました。



POINT
転落防止のため、スロープのふちは少し高くしました。奥様も安心して車いす操作ができます。



POINT
スロープは「車いすを自走する場合」と「介助者がいる場合」で傾斜角度が変わってきます。利用する方の状況にあわせて、必要な勾配（スロープの長さ）を検討しましょう！

施工後の感想

玄関で、屋外用の車いすに乗りかえた後は、スロープを降りるだけで外出できるようになりました。緩やかな傾斜にしてもらったことで、介助負担も少なくて済み、とても助かっています！

